

特色類型 NEWSLETTER

令和6年度
第9号

編集 特色類型推進部
前林



10月28日(月)、1年生特色類型クラス(1-6)の総合的な探究の時間において出前講座がありました。今回の講師は神戸常盤大学 保健科学部 看護学科の横山利枝先生です。横山先生は小児看護学がご専門で「これからの医療職に求められること～子どもの健康から考える～」というテーマで講義をしていただきました。

WHAT'S
NEW?

1年特色クラス
高大連携講座

神戸常盤大学
横山利枝先生

「なぜ、子どもの健康を考える必要があると思いますか。」という問いに対し、6組の生徒は「少子高齢化だから」と答えていました。そうですね、若い世代が少ないと働き手不足になり経済が縮小し、国の豊かさにも影響が出ます。子どもの健康を守ることは国の将来にも関わる大切なことなのですね。では、健康とは一体どういう状態のことですか？

この問いに対しては、「けがや病気がなく不自由でないこと」と答えていました。はたして、体が不自由な人は健康ではないのでしょうか。持病がある人は健康ではないと言い切れるのでしょうか。ここで生徒達は「はっ！」という気づきがありました。健康の指標は人それぞれであり、その人にとって身体的・精神的に健康な状態を目指すことが重要ということに気づくことができました。子どもが心身ともに健康に育つためには、その子らしい成長発達を支援することが求められます。その他にも現代の医療の課題など現場のお話も聞くことができ、将来、医療従事者や保育関係に就きたい生徒達の多い6組には大いに学びのある講義でした。



SELF
LOVE

